● 編集と発行 ● 社会福祉法人栗原市社会福祉協議会 〒987-2252 栗原市築館薬師三丁目6-2 TEL 0228-23-8070 FAX 0228-22-6012

栗原市社協だより

第56号
平成26年９月１日

主な内容

●ボランティアとこどもの祭典
●ふれあい ささえ合い 笑顔がいっぱいの地域活動
●事業所からこんにちは
●高齢者生きがい活動支援事業紹介
●生活相談所日程
●ぼらぼら通信
●高齢者のつどい
●生活相談相談員全体研修会
●まもりーぶ生活支援員全体研修会
●市民の声
●みみサポサロンのご案内
●パタカラ体操
●災害時相互支援協定締結式
●ご寄附の紹介
●困ったときのＱ＆Ａ
●くりはら・ひまわり・げんきプロジェクト
●福祉のひろば

ボランティアとこどもの祭典

この広報誌は、みなさんの会費と共同募金配分金により発行しております

ボランティアとこどもの祭典

～えがお 輝け キラキラと！～

◇開催日　平成２６年８月９日(土)
◇会　場　アスパルわかやなぎ

今年で３回目の開催となった「ボランティアとこどもの祭典」。
地元人形劇団「ころころ」による「ねずみの相撲」を皮切りに、各コーナーごとに趣向を凝らした内容となりました。例年の人気コーナーに加えて、新しく「親子ヨガ」のコーナーなども増えました。
当日は、様々な遊びや体験を通して、多くの方々が世代を超えて交流を図り、人と人とがつながるとても良い一日となりました。今後も、「共に支え、共に助け合い、共に生きる」地域の創造を目指して参りたいと思います。
当日の各コーナーをご紹介します。

コーナー紹介

つくってあそぼう

昔の遊び

ペーパークラフト
(瀬峰・高清水支部コーナー)

ボーリング

とすけもの

スーパーボール

ストラックアウト

点字体験

プラネタリウム

絵本の読み聞かせ

クリハライザー

親子ヨガ

さをり織り

●○●○●○ 当日のアンケートからの声 ●○●○●○

■沢山のコーナーがあって、目いっぱい最後まで遊んでいました。初めての参加でしたが、とても子供が喜んで夢中で遊び回っていました。弓、スーパーボール、昆虫等いっぱいもらって、嬉しそうでした。ありがとうございました。麦茶もおいしかったです。
■初めて参加しましたが、子どもたちが楽しめるものばかりでした。また、体験できるものもあり、大人も楽しめました。子供たちは大変喜んでおりましたので、また参加したいと思います。
■高学年の子供が楽しめるようなものがあると、もっといいと思う。
■孫が九州から来た時期に、ちょうど来れたので、大満足。初めての参加に、孫共々大喜びです。参加できてうれしく思っています。ダンスも楽しかった。

熊谷会長のあいさつ

オープニング「人形劇」

アトラクション「恋するフォーチュンクッキー」

ポリテクコーナー

電車ごっこ
(瀬峰・高清水支部コーナー)

お菓子のつかみどり

手話体験

バルーンアート

甲冑体験

チャリティープラモデル

パン販売

かき氷

参加者の様子

チャレンジコーナー

ぬいぐるみと記念写真

ふれあい ささえ合い 笑顔 が いっぱい の地域活動

地区社協 活動紹介

栗駒 大鳥中地区社協（会長 三浦 強）

「お茶っこ会」

昨年結成された大鳥中地区社協ですが、参加率が高く、今回も男性8名女性22名の大勢で地域の交流会を開催しました。

社協職員の講話と体操やゲームだけでなく、地元の舞踊や民謡なども披露され、なごやかな雰囲気で、とても仲の良い地区の皆さんです。今後の活動が期待される地区です。

「会長さんを囲んで、ハ～イ パチリ！」

地区社協 活動紹介

高清水 第2区地区社協（会長 片倉 義明）

「お茶っこ会」

第2区地区社協では、前年度に栗原市のモデル事業として取り組んだ「いきいき健康サロン」が終了してからも、「お茶っこ会」の中に体重測定や血圧測定を継続して取り入れ、健康に留意した「お茶っこ会」として、毎月1回を目安に開催しています。

又、万歩計も全員が継続して着用し、何人かは、電池の交換もしました。

7月は「認知症について」をテーマにして、社協の職員の方に来ていただき、認知症予防につながる、頭や手（指先）などを使ったレクリエーションを行いました。「あ」のつく言葉を順番に出し合ったり、歌に合わせて手をたたいたり、時には間違ってしまうこともありましたが、楽しみながら参加することが出来ました。

これからも、地域の住民が参加しやすい事業を実施し、より多くの方が参加できる「楽しい地区社協活動」ができるよう多くの方の意見をお聞きし、継続していきたいと思っています。

「家に帰ってからも やってみよう！」

地区社協 活動紹介

志波姫 上区地区社協（会長 鈴木 貞二）

「お茶っこ会」

去る、7月29日（火）、上区自治会館において、地域住民の交流を図る目的で「お茶っこ会」を開催いたしました。

近頃激増している特に高齢者をターゲットに、電話一本で他人のお金をかすめ取ろうとする、卑劣な振り込め詐欺等に絶対騙されることのないように、志波姫駐在所の斉藤所長より講話を頂きました。

その後、輪投げのゲームを楽しみ、懇談しながら時間をかけて昼食を取りました。

最後に熱中症、振り込め詐欺等の対策・対応を再確認し、次回の参加をお願いして閉会といたしました。

「う～ん、こんな手口があるんだなぁ」

「絶対騙されないように みなさん真剣です！」

地区社協 活動紹介

花山 程野地区社協（会長 佐藤 雄二）

「お茶っこ会」

去る7月13日（日）、草木コミュニティセンターにおいて、たくさんの地区の方々に参加いただき、花山駐在所の山田所長をお招きして、「交通安全等」のお話をいただきました。

その後は、築館地区の横須賀健寿会の皆さんによるアトラクションで、楽しいお茶っこ会になりました。

日頃より、おつきあいのある皆さんと笑いあえて、心も体もリフレシュできました。

「山田所長さんの楽しい講話」

「皆さん真剣に聞き入っています」

高齢者生きがい活動支援事業紹介

■花山地区

金曜日（ひまわり組）

花山地区生きがい活動支援事業は、毎週木曜日と金曜日に花山湖畔の里を会場に開催しております。

６月末には、一迫のあやめ祭り会場を訪問し、晴天の中で咲き誇る一面のあやめを充分に観賞してきました。自身の生きがい作りと社会参加を目的とする高齢者生きがい活動支援事業に皆さんも、参加してみませんか。

木曜日（すみれ組）

問い合わせ先
社協花山支所
☎56−2028
☆一度遊びに来てください。楽しいですよ！

■志波姫地区

「次は～夏は来ぬ～を歌いますよ。さん、はい！」

志波姫地区では、毎週火曜日、木曜日に生きがい活動支援事業を実施しております。活動内容は、ボランティアさんに歌や踊りを見せていただいたり、軽体操をしたり、また、手先の器用な利用者さんが多いので人形づくりなどの創作活動を楽しんでいます。先日はキーボードの得意な利用者さんの演奏に合わせて“昔懐かしい童謡”を声高らかに歌いました。“生の演奏に合わせて歌ったら気持ちいがったねぇ、また歌うべしねっ”と、感激されておりました。

帰りは、“今日もいっぱい笑ったね、また来週も会うべしねぇ”と、みなさん、毎回楽しみにされております。

問い合わせ先　社協志波姫支所
☎22−2713

困りごと・心配ごとの相談は、生活相談所へ

たとえば こんな相談！

◆暮らしや住まいに関すること……
◆家族に関すること……
◆福祉に関すること……　等々

市民の皆様が抱えている生活上の困りごと、心配ごとに対応するため、栗原市社協では生活相談所を開設しています。相談は無料、秘密厳守となっておりますので、ぜひご利用ください。

※栗原市内のどの相談所も利用可能です。※詳しくは、各支所へお問い合わせください。

相談所名	電話番号	開設日	開設時間	開設場所
築館生活相談所（築館支所）	23－8087	9/9(火) 10/7(火) 10/21(火)	9:30～11:30	築館高齢者福祉センター（栗原市築館薬師三丁目6-2）
若柳生活相談所（若柳支所）	32－3083	9/9(火) 10/7(火) 10/21(火)	9:30～11:30	若柳総合支所（栗原市若柳字川南戸の西4）
栗駒生活相談所（栗駒支所）	45－2150	9/11(木) 9/25(木) 10/9(木) 10/23(木)	9:30～11:30	栗駒老人憩いの家 シャクナゲ荘（栗原市栗駒岩ケ崎上小路136）
高清水生活相談所（高清水支所）	58－3637	9/8(月) 9/22(月) 10/6(月) 10/20(月)	9:30～11:30	高清水ほっと館（栗原市高清水東館34）
一迫生活相談所（一迫支所）	52－4433	9/12(金) 9/26(金) 10/10(金) 10/24(金)	9:30～11:30	一迫高齢者生活福祉センター（栗原市一迫真坂字高橋20-1）
瀬峰生活相談所（瀬峰支所）	59－2322	9/11(木) 9/25(木) 10/9(木) 10/23(木)	9:30～11:30	瀬峰保健センター（栗原市瀬峰長者原37-2）
鶯沢生活相談所（鶯沢支所）	55－2834	9/10(水) 9/24(水) 10/8(水) 10/22(水)	9:30～11:30	鶯沢老人福祉センター（栗原市鶯沢南郷下久保21-1）
金成生活相談所（金成支所）	42－1248	9/12(金) 9/26(金) 10/10(金) 10/24(金)	9:30～11:30	金成総合支所 やすらぎセンター（栗原市金成沢辺町沖200）
志波姫生活相談所（志波姫支所）	22－2713	9/10(水) 9/24(水) 10/8(水) 10/22(水)	9:30～11:30	志波姫老人憩いの家 おもと荘（栗原市志波姫沼崎原83-1）
花山生活相談所（花山支所）	56－2028	9/8(月) 9/22(月) 10/6(月) 10/20(月)	9:30～11:30	花山湖畔の里（栗原市花山字本沢百目木18-1）

事業所からこんにちは

築館デイサービス「ふれあい」☎23−8070

台風の影響で天候は不安定でしたが、暑い夏を実感する８月８日（金）築館デイサービス「ふれあい」では、毎年恒例の夏の大イベント！「第９回夏祭り」を開催しました。

当日は若柳デイサービス「ひだまりの家」の利用者様を招待、ボランティアに築館中学校１・２年生５名の参加もあり、大変にぎやかな会となりました。

輪投げや手作りの魚釣り等５種類のゲームコーナーがあり、全部周り終わると水ヨーヨーのプレゼント！おやつコーナーには、みそおでん・たこ焼き・かき氷があり、「美味しいごだな～！」と皆様ペロリとたいらげました。

一番の注目は、豪華景品が当たる大ビンゴゲーム！天ぷら鍋やタオルセットなどを手にし、満面の笑顔で目尻も下がりっ放しです。

最後に全員で「ハイチーズ！」と記念撮影をして今年の夏祭りも盛会の内に幕を閉じました。

若柳デイサービス「ひだまりの家」☎32−3032

若柳デイサービス「ひだまりの家」では、体力の維持向上や下肢筋力の低下防止を目的に、玄米ダンベルを持っての体操や音楽に合わせての下肢運動、工夫を凝らしたレクリエーションにて楽しく体を動かしています。

また、指先を動かすことを目的とした創作活動においても積極的に参加され、素晴らしい作品が出来上がっています。

これからも利用者様に楽しんでいただけるような活動を計画していきたいと思います。

いつでも見学、体験利用できますので、お気軽にご相談ください。

介護保険等事業所名	電話番号
築館居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	21-0225 21-2141
一迫居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	52-4433
栗原市社協訪問介護事業所	21-2146
くりはら訪問入浴介護事業所	52-4433
築館デイサービス「ふれあい」	23-8070
若柳デイサービス「ひだまりの家」	32-3032
栗原市高清水デイサービスセンター	58-3637

介護保険等事業所名	電話番号
栗原市一迫デイサービスセンター	52-4433
栗原市瀬峰デイサービスセンター	59-2322
栗原市鶯沢デイサービスセンター	55-2874
栗原市金成デイサービスセンター	42-1154
栗原市花山デイサービスセンター（湖畔の里）	56-2028
生活介護事業所　はげましホーム	22-8111
共同生活援助事業所　ふきのとう	22-0745

平成26年度 高齢者のつどい
～これからも いきいきと～

去る、７月31日(木)若柳ドリームパルを会場に、「高齢者のつどい～これからも いきいきと～」を開催いたしました。対象は、市内の一人暮らし高齢者の方です。民生委員さんや栗原市ボランティア連絡協議会の皆さん、若柳支部委員のご協力のもと、約360名の方の参加をいただきました。第一部の歌・舞踊(新妻元敏芸能企画：志波姫)では、華やかな着物姿の子ども達が伝統芸能を披露。愛嬌たっぷりのしぐさや大人顔負けの洗練された動きに、会場からは盛大な拍手が送られました。第二部のしあわせジャンボ抽選会では、番号が呼ばれるたびに大きな歓声がわきあがりました。参加された皆さんには、明日の元気につながるよう、楽しいひとときを過ごしていただきました。

日常生活自立支援事業 生活支援員全体研修会 (まもりーぶ)

平成26年度日常生活自立支援事業生活支援員全体研修会が、７月17日(木)に東京エレクトロンホール宮城で開催され、栗原支部(まもりーぶ栗原)からは15名が参加しました。今年度の研修内容は「日常生活自立支援事業の生活支援員の役割の基本」と、「判断能力が不十分な方々への接し方」でした。

生活支援員として本事業について、また、利用者様とのかかわり方について再認識する機会となり、今後の支援にもつながる有意義な研修会となりました。

生活相談所相談員 全体研修会

平成26年度　第１回生活相談所相談員全体研修会を、６月30日(月)に築館高齢者福祉センターにて開催いたしました。財務省東北財務局　金融監督第三課より３名の方を講師に迎え、「金融犯罪にあわないために」をテーマに講義、グループワーク等が行われました。

手口が巧妙化している中、生活相談員として相談者に対し、どのような対応・助言を行えば良いのか皆さん真剣な様子で研修に取り組まれておりました。

ぼらぼら通信
栗原市ボランティアセンター

声の広報をお届けします！
築館地区ボランティア友の会 朗読ボランティア

平成７年４月、15名のボランティア会員から始まった「朗読テープ貸出事業」は今年で19年目を迎え、現在はボランティア16名で目の不自由な方へ「声の広報」として朗読テープをお届けしています。

内容は、栗原市社会福祉協議会発行の「社協だより」、栗原市発行の「広報くりはら」、「議会だより」の朗読、更に季節に合わせた歌を録音し、毎月１回、利用者の方々に聞いていただいております。また、年に１度、利用者の方々とボランティアとの交流会を行い、意見交換や親睦を深める機会を作り、活動しています。

栗原市にお住まいの目の不自由な方々は、是非ご利用下さい。

問い合せ先
社協　地域福祉課
☎23−8087

打合せ

録音（栗原文化会館）

カセットテープ・CD
どちらでも利用可能です。

ボランティア保険ニュース！

◆食中毒事故について◆
食中毒事故には以下の３種類のものがあります。
①細菌性のもの(病原性大腸菌、サルモネラ菌)
②自然毒によるもの(フグ、ドクカマス、キノコ)
③化学物質によるもの(メタノール、ヒ素、鉛)
配った食事等を行事開催日に食べきれず、翌日以降の消費期限を過ぎてから食べたことによって、その方だけが食中毒等を起こした場合は、補償対象にならないこともありますので消費期限内に食べきるようご注意ください。

食中毒事故の補償範囲は傷害保険と賠償責任保険となります。

お知らせ情報コーナー

市民の声

福祉への想い

栗原市ボランティアセンター
運営委員
堀本教信

福祉とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉だそうです。そのなかでもボランティアは、苦しんでいる、悩んでいる人に対して「しあわせ」「ゆたかさ」を感じてもらう行動だと思います。

ボランティアと聞くと、私たち日本人はとても大きな事、難しいことと思いがちではないでしょうか。しかしボランティアの根底にあるのは「よりそう」ということなのだと思います。「よりそう」というのは、悩んで苦しんでいる人の思いを聞く、人々のしあわせを願うということが、「よりそう」ということなのではないでしょうか。そして何よりも「あなたのことをわすれてないよ」という想いこそが「しあわせ」や「ゆたかさ」を感じてもらうことになるのだと思います。

ボランティアとして何か大きなことができるわけではないですが、悩んで苦しんでいる人たちに、よりそっていく想いを持ち続けていくことが私の福祉活動の第一歩です。

栗原市みみサポサロンのご案内

聴覚障害をお持ちの方や、ご家族、手話サークルのみなさんなど、どなたでもご参加いただける「みみサポサロン」です。手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応します。事前申込はいりません。お気軽にお越しください。

【1　回　目】

日　時：平成26年9月16日(火)
会　場：栗原市若柳総合支所　201会議室

◇10：30～12：00「聴覚障害者が使える福祉制度」
補聴器購入・修理の助成や、手話通訳、要約筆記通訳の派遣制度、使って便利な「日常生活用具」など、聴覚障害者が使える福祉制度を栗原市の担当者が説明します。

◇13：00～14：30
「参加者交流サロン、個別相談コーナー」
ちょっと一息、気軽におしゃべりをしませんか。個別の相談にも応じます。

【2回目】

日　時：平成26年10月18日(土)
会　場：栗原市市民活動支援センター　多目的室

◇10：30～12：00「本当は怖い!? 糖尿病の話」
失明原因の第1位、糖尿病。あらためて、生活習慣を見直してみませんか？血糖のしくみや、健康な食生活について保健師さんがお話をします。

◇13：00～14：30
「参加者交流サロン、個別相談コーナー」

お問合せ
みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター(みみサポみやぎ)
〒930-043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル３階
FAX：022-349-9606　電話：022-349-9605　mail：info@mimisuppo-miyagi.org

知っていますか？ パタカラ体操

当会のデイサービスセンターでも行っている「パタカラ体操」。
食べ物を噛んで飲み込むまでの一連の動作を円滑に行うための、発音による運動です。

加齢に伴い筋肉が弱ってくると、お口の周りの筋肉や舌の動きが悪くなります。体操にはこれらの筋肉を鍛え、①噛む力・飲み込む力の維持・向上、②唾液の分泌の促進、③入れ歯が安定する、④発音がハッキリする、⑤表情が豊かになるなどの効果。また、いびきや歯ぎしりの改善、ほうれい線などの筋肉の衰えによるシワの予防・改善も期待できます。

【パ】唇を締める筋力を鍛え、食べこぼさないトレーニングです。
【タ】食べ物を噛んで押しつぶしたり飲み込んだりする、舌のトレーニングです。
【カ】誤嚥せずに食べ物を食道に運ぶトレーニングです。
【ラ】食べ物を口腔内に運び、飲み込みやすくするためのトレーニングです。

体操は簡単！「パパパパパ」「タタタタタ」「カカカカカ」「ラララララ」と発音するだけ！発音はできるだけ大きく、はっきりと行いましょう。また、「パタカラ」と繰り返し発音するのも効果的です。この体操は嚥下体操や唾液腺マッサージのように、お食事前に行うと効果的です。

皆さんもパタカラ体操を行って、美味しく楽しい食事を摂りましょう！

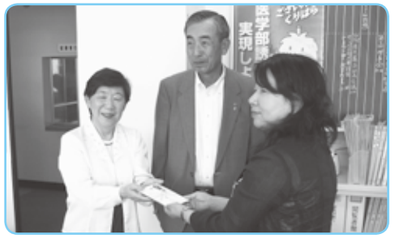
♥♥♥ ご寄附の紹介 ♥♥♥
温かい善意 ありがとうございました

◆寄 附 金（6月1日から7月31日までの受付順）

千　種　正　幸 様（築館）	6,555円
匿　　名 様（瀬峰）	30,000円
築館ライオンズクラブ 会長　平　野　勝　洋 様（築館）	100,000円
若柳山野草＆さつき盆栽会 様（若柳）	3,850円
石　川　司　之 様（瀬峰）	10,000円

◆寄贈物品（皆さんに喜んでいただけるような活用をさせていただきます）

千　葉　雄　治 様（一迫）	ポータブルトイレ
大　畑　政　喜 様（瀬峰）	プラモデル
門　馬　タイコ 様（若柳）	プルタブ
阿　部　安　子 様（栗駒）	官製はがき
及　川　百合子 様（瀬峰）	雑　　巾
石　川　司　之 様（瀬峰）	タ　オ　ル



結成35周年記念例会実行委員長　長谷川美子様(左)
築館ライオンズクラブ事務局　菅原　勝直様(中央)

築館ライオンズクラブ結成35周年記念アクトとして、福祉用具購入資金10万円をご寄付頂きました。

宮城県内社会福祉協議会 災害時相互支援協定締結式

6月19日(木)松島町ホテル大観荘にて、災害発生時における宮城県内市町村社会福祉協議会相互支援協定の締結式が行われました。

この協定は、3.11東日本大震災によって被災地社協が担うべき「災害ボランティアセンター」の設置運営が困難な状況に対し、全国・県内市町村社協が職員派遣等長期にわたり支援体制を行った経験から、大規模な災害が発生してからではなく、事前に協力体制整備を行い、「共通理解の醸成」と「災害支援体制の確立」という未来への方向性を全国に発信していくものとして締結されました。

困ったときのQ&A

築館・志波姫地域包括支援センターには地域の方々から色々な質問や相談が寄せられます。その中でも、今回は「介護保険制度の福祉用具分野」についてお答えします。

Q：最近膝が痛くて布団から起きるのが大変になってきました。ベッドを使いたいのですが、介護保険制度でレンタルすることはできますか？

A：レンタルは可能です。しかし、介護保険制度で借りられるのは要介護2以上と認定された方のみです。要介護1以下の方は介護保険適用外となります。

※制度外として、自費負担でベッドをレンタルすることも可能です。

Q：杖かシルバーカー(手押し車)の購入を検討しています。購入費は介護保険制度で支給されますか？

A：支給対象外です。介護保険制度の「特定福祉用具販売」は対象種目が決められています。腰掛便座・自動排泄処理装置の交換可能部品・入浴補助用具(浴槽用手すりや入浴台など)・簡易浴槽・移動用リフトの吊り具部分の5種類です。

※杖やシルバーカーの種類によっては介護保険制度の福祉用具レンタルの対象となるものもあります。(要支援の方もレンタル対象です。)

福祉用具を上手に活用することによって、日々の生活の手助けとなり、介護者の負担軽減にも繋がります。

詳しくは、担当のケアマネジャーまたは各地域包括支援センターにお問い合わせください。

栗原市社協だより 第56号 平成26年9月1日発行

■編集と発行 社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会

〒987-2252 栗原市築館薬師三丁目6-2
TEL 0228-23-8070 FAX 0228-22-6012

くりはら・ひまわり・げんきプロジェクト

６月20日(金)、イオンスーパーセンター栗原志波姫店北側の市道川の口線に「栗原のボランティア“力”」を結集し植栽を行ったひまわりは、多くのみなさんの愛情を受け８月上旬に大輪の花を咲かせ、今年度も栗原から元気を発信することができました。

除草作業の様子

ひまわりが大きく育つようにと、７月中２回にわたって早朝６時より栗原市ボランティア連絡協議会の皆さんをはじめ、社協の築館支部・志波姫支部の皆さんにご協力いただき、花壇の整備を行いました。

ご協力いただきました皆さん、大変ありがとうございました。

※今後は、ひまわりの採種を予定しております。

福祉のひろば

このコーナーでは、福祉教育の取り組みをお伝えします。

「手伝いたい！助けたい！」
ーキャップハンディ体験からー

玉沢小学校

今年度は、３・４年生が「車いす体験」と「高齢者擬似体験」に取り組みました。社会福祉協議会の方々にお世話していただきました。

まず、「車いす体験」です。障害物を通過したり、大きさの違うボールを拾ったり、階段横のスロープを上ったり、トイレの中に入ったり、水道で手を洗ったりしました。「大変だ。」の声が何度も聞こえました。

次は、「高齢者擬似体験」です。高齢者に近づくために、手首、足首、ひじ、ひざ、お腹に重りをつけ、ヘッドホンとゴーグルを付けました。自然と腰が曲がり、杖を付きながら、やっとのことで階段の上り下りをすることができました。「歩きにくい。耳が聞こえにくい。見えにくい。がんばっても進まない。」の声があがりました。

４年生の白鳥彩加さんは、「簡単にだんさや坂を乗りこえられませんでした。これからは、車いすで困っている人がいたら、声をかけて手伝ってあげたいです。」３年生の千葉陽太さんは、「高齢者の方のようになったら階段を上ることができませんでした。みんなに助けてもらいました。お年寄りが困っていたら助けてあげたいです。」と感想を話してくれました。

今までは気づかなかった車いすでの歩行やお年寄りの大変さを、体験を通して実感しました。手伝ってあげたり、助けてあげたりしたいという思いやりの気持ちがふくらみ、自分は今後どうしたらよいのかを考えることができました。

編集後記

「ボランティアとこどもの祭典」では、会場いっぱいに笑顔がキラキラ輝いていました。

今号は「ボランティアとこどもの祭典」、「福祉のひろば」で、様々な体験や世代間交流等を紹介いたしました。このような社協事業を通して、次代を担う子どもたちの「思いやり」「たすけあい」の心が育まれ、人と人とがつながり、絆を深め、笑顔いっぱいの地域になってほしいと思います。 (細川)

ホームページアドレス http://kurihara-sfk.jp/
←モバイル版はこちら!!
バーコードリーダーで読み取り。モバイルサイトにアクセス！

社協本所・支所電話番号

本所・総務課	☎23-8070(代表)	高清水支所	☎58-3637
本所・地域福祉課	☎23-8087(直通)	一迫支所	☎52-4433
本所・介護保険課	☎21-2141(直通)	瀬峰支所	☎59-2322
築館支所	☎23-8087	鶯沢支所	☎55-2834
若柳支所	☎32-3083	金成支所	☎42-1248
栗駒支所	☎45-2150	志波姫支所	☎22-2713
		花山支所	☎56-2028